

1. 科目名 (単位数)	会計学入門 (2 単位)	3. 科目番号	GELA1351 GELA1356
2. 授業担当教員	松尾 仁		
4. 授業形態	テキストの輪読とその解説が中心となるが、講師からの一方通行ではなく、ディスカッション (学生からの講師への質問、学生間のディスカッション等) を伴ったものにする。	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	会計学および経営学関連科目を履修していることが望ましい。		
7. 講義概要	簿記や会計学は、数学的で技術的な側面が強く、苦手意識を持つ学生も少なくない。そこで、この講座では、会計を素材としたビジネス書や小説を題材に、数字に頼ることなく会計的思考法を学習することを試みる。会計的思考は簿記上の仕訳を前提とするものではなく、ビジネスを行うすべての人に必要な思考法であり、数字はその根拠を示すものとして用いられているに過ぎない。この講座を通じて、数字への苦手意識を持つことなく、会計的思考法を会得してもらいたい。		
8. 学習目標	1. 会計に興味を持つことができる。 2. 会計的思考法を理解できるようになる。 3. 数字を根拠に経営を考えることができるようになる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	授業内容と関連したレポートを課す。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 朴大栄・小澤義昭・山田伊知郎『新版 まなびの入門会計学 (第3版)』中央経済社、2018年。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 会計的思考法で考えることができるか。 2. 会計上、問題となることが何か、理解できているか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。 1 授業への積極的参加 総合点の30% 2 期末試験 総合点の30% 3 課題レポート 総合点の40%		
12. 受講生へのメッセージ	主体的に授業に参加し、会計学の基礎的な理論と現状を学び、会計のさまざまな問題について漠然とではなく論理的に考える力を身につけるよう心掛けていただきたい。		
13. オフィスアワー	授業内で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション/会計の意義	事前学習	教科書を準備し、会計学について考えてくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第2回	会計の役割	事前学習	教科書の第1章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第3回	会計制度の仕組み	事前学習	教科書の第2章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第4回	複式簿記の仕組み (1) 簿記の流れ	事前学習	教科書の第3章第1~4節を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第5回	複式簿記の仕組み (2) 決算業務	事前学習	教科書の第3章第5~10節を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第6回	財務諸表	事前学習	教科書の第4章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第7回	流動資産	事前学習	教科書の第5章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第8回	固定資産	事前学習	教科書の第6章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第9回	純資産と負債	事前学習	教科書の第7章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第10回	収益と費用	事前学習	教科書の第8章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第11回	キャッシュフロー	事前学習	教科書の第9章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第12回	財務状態	事前学習	教科書の第10章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。

第13回	収益性	事前学習	教科書の第11章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第14回	原価構造	事前学習	教科書の第12章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第15回	経営管理への役立ち	事前学習	教科書の第13章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
期末試験			